官報告

官報告事項

内閣は、財政法第46条第２項の規定によって、平成22年度第４・四半期（出納整理期間を含まず。）における予算使用の状況を次のとおり報告する。

平成22年度第４・四半期予算使用の状況（ただし出納整理期間を含まず。）
（財務省調査）

１．一般会計

(1) 概要

平成22年度第４・四半期中における収納済歳入額は、26,516,914,938千円であって、これに対して当期中における支出済歳出額は、23,740,668,381千円であり、収納済歳入額が支出済歳出額を超過する額は、2,776,246,556千円である。

(2) 歳入

平成22年度第４・四半期中の収納済歳入額は、26,516,914,938千円であって、歳入予算額96,728,392,685千円に対して27.4％（前年同期29.3％）の収入割合となる。これを前年同期30,053,533,761千円に比べると3,536,618,823千円の減少となる。

これは、公債金において2,261,487,495千円の減少があったこと等のためである。

以下、その性質別内訳についてみると次のとおりである。

（単位千円　千円未満切捨）

区分	22年度第４・四半期	前年同期
租税及印紙収入	12,460,249,887	9,880,872,312
官業益金及官業収入	4,039,113	3,891,482
政府資産整理収入	688,897,956	52,154,107
雑収入	5,747,727,175	6,129,201,017
公債金	7,616,000,805	13,987,414,840
計	26,516,914,938	30,053,533,761

また、当期末における収納済歳入額は、85,249,747,495千円であって、歳入予算額（96,728,392,685千円）に対して88.1％（前年同期87.8％）の収入割合となる。なお、上記収納済歳入額（85,249,747,495千円）に国税収納金整理資金から一般会計への組入未済額5,084,102,347千円を加えると、当期までの収納済額は、90,333,849,842千円となり、歳入予算額（96,728,392,685千円）に対して93.3％（前年同期93.5％）の収入割合となる。

(3) 歳出

平成22年度第４・四半期中の支出済歳出額は、23,740,668,381千円であって、歳出予算現額100,668,749,098千円に対して23.5％（前年同期24.0％）の支出割合となる。これを前年同期25,797,831,275千円に比べると2,057,162,893千円の減少となる。

これは、地域活性化・公共投資推進費において903,316,415千円、地域活性化・経済危機対策推進費において716,439,545千円の減少があったこと等のためである。

（単位千円　千円未満切捨）

所管	22年度第４・四半期	前年同期
皇室費	1,072,226	759,961
国会	28,111,055	24,706,056
裁判所	61,718,396	62,124,078
会計検査院	2,981,503	2,913,617
内閣	51,416,503	52,703,291
内閣府	121,766,357	160,153,820
総務省	2,444,041,535	2,935,313,304
法務省	142,124,322	153,243,745
外務省	392,184,284	459,889,539
財務省	6,445,907,568	6,239,192,581
文部科学省	1,709,751,761	1,718,424,280
厚生労働省	6,771,013,505	6,913,900,018
農林水産省	992,648,555	1,144,775,091
経済産業省	582,491,536	898,707,528
国土交通省	2,788,175,858	3,662,060,679
環境省	84,845,406	186,210,780
防衛省	1,120,418,007	1,182,752,900
計	23,740,668,381	25,797,831,275

また、当期末における支出済歳出額は、91,403,339,626千円であって、歳出予算現額（100,668,749,098千円）に対して90.7％（前年同期90.7％）の支出割合となる。

以上の詳細は、別表第１のとおりである。

㈱１　前表の各計数は、千円未満を切り捨てている。

２．特別会計

(1) 歳入

平成22年度第４・四半期中の各特別会計の収納済歳入額合計は、104,132,175,558千円であって、歳入予算額合計390,345,431,137千円に対して26.6％（前年同期26.4％）の収入割合となる。これを前年同期100,911,014,351千円に比べると3,221,161,206千円の増加となる。

これは、年金特別会計業務勘定において、1,519,919,488千円の減少があったが、国債整理基金特別会計において3,492,438,324千円の増加があったこと等のためである。

また、当期末における収納済歳入額合計は、382,043,965,011千円であって、歳入予算額合計（390,345,431,137千円）に対して97.8％（前年同期97.9％）の収入割合となる。

なお、国税収納金整理資金からの組入未済額51,886,684千円がある。

(2) 歳出

平成22年度第４・四半期中の各特別会計の支出済歳出額合計は、68,378,403,586千円であって、歳出予算現額合計382,230,984,516千円に対して17.8％（前年同期16.9％）の支出割合となる。これを前年同期64,080,674,724千円に比べると4,297,728,861千円の増加となる。

これは、年金特別会計業務勘定において1,581,414,344千円の減少があったが、国債整理基金特別会計において4,810,347,464千円の増加があったこと等のためである。

また、当期末における支出済歳出額合計は、342,485,688,220千円であって、歳出予算現額合計（382,230,984,516千円）に対して89.6％（前年同期91.1％）の支出割合となる。

以上の詳細は、別表第２のとおりである。

㈱　上記の各計数は、千円未満を切り捨てている。